

郭 3 石 垣

郭3外面に累々と積まれた石垣は、最大高約5m、総延長100mに及ぶ小倉城跡の中で最大規模の石垣です。この城の大きな特徴でもある石垣は結晶片岩系の石材を使用し、基本的に石材の長辺を正面に据えた筋の通った平積を基調とし結晶片岩の特性を活かした理にかなった積み方しています。



▲ 郭3 石垣位置図

また城正面と推定する大福寺方面から登城すると郭1 腰郭石垣と合わせて両側に壁のように立ちふさがって見え、一定の視覚効果があったと思われます。なお、この小さな腰郭のすぐ下方からは投下されたように「かわらけ」が出土していて何らかの儀礼行為が行われた可能性があります。

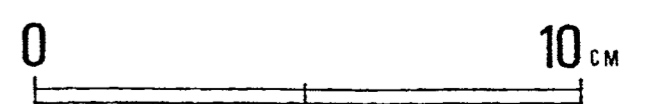
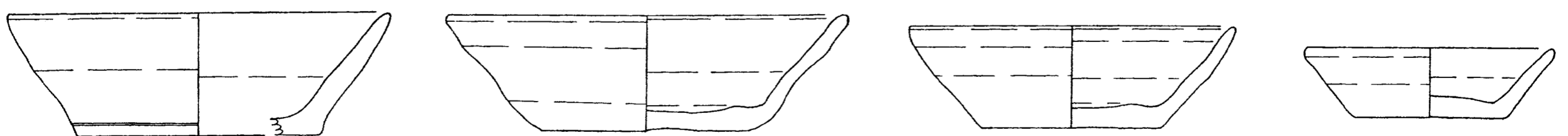
(ときがわ町教育委員会)



▲ 郭3 石垣東面(北から)



▲ 郭3東面(南から)



▲ 腰郭出土「かわらけ」大・中・小